

制定日 2020 年 3 月 12 日

施行日 2020 年 4 月 1 日

## 岡山商科大学大学院商学研究科修士課程

# 学位論文評価基準

### 1. 修士課程の学位論文の提出までの手順

修士課程の学位論文を提出しようとする者は、2 年制コースの学生の場合は、課程修了予定の 1 年前の学年末までに専修科目の演習 4 単位及び講義 2 単位、選択必修科目 6 単位を含む、合計 20 単位以上を修得していなければならない。また 3 年制コースの学生の場合は、課程修了予定の 1 年前の学年末までに専修科目の演習 8 単位及び講義 2 単位、選択必修科目 6 単位を含む、合計 20 単位以上を修得していなければならない。そして、課程修了予定の学年当初の履修科目の登録の際に、「修士論文」、「課題解明型の修士論文」のいずれを提出予定かを登録するものとする。その後、修士課程の学位論文の提出期日の概ね 2 か月前に開催される中間報告会を経て最終論題を提出し、「修士論文」、「課題解明型の修士論文」のいずれを提出するのかを再度確認登録させ、指定期日までに修士課程の学位論文を提出させるものとする。

### 2. 審査体制

修士の学位授与を受けようとする者は、上記のような過程を経て、岡山商科大学学位規程第 4 条の規程に則り、指定期日までに修士課程の学位論文を提出し、その後修士論文の報告会において報告を行うとともに最終試験を受けるものとする。

修士の学位授与を受けようとする者の修士課程の学位論文を受領した研究科委員会は、その修士論文の内容及び専攻科目に関係する教員から 3 名以上の審査委員を選出して修士論文の審査と最終試験の施行を委嘱する。修士論文の審査と最終試験は、下記の修士論文の評価基準の各項目に留意して、提出された修士論文を中心に、これに関連する科目につき筆記又は口頭によって行う。税理士試験の受験を希望する者の修士論文の評価の際には、国税庁の指針も考慮して評価する。

### 3. 修士課程の学位論文の評価基準

修士課程の学位論文には、修士論文と課題解明型の修士論文とがある。修士論文は、先行研究・参考文献や研究資料などの収集につとめ、問題点を的確に捉え、それらの研究に

真摯に取り組み、新たな学術的知見を得ようとするものであり、課題解明型の修士論文は、自らの問題意識にもとづいて課題を設定し、多様な手法の中から適切な方法を選択し、事例などの資料収集に真摯に取り組み、独自の問題解決を目指すものである。修士論文と課題解明型の修士論文の評価基準は、つぎのように定める。

#### 修士論文の評価基準

- ① 研究上の問題意識が明確であり、研究テーマの設定が学問的にみて意義のあるものとなっていること。
- ② 当該の研究テーマに関する必要不可欠な先行研究・参考文献や研究資料などが収集・参照されており、それらの研究に真摯に取り組んでいること。
- ③ 研究テーマに適切な研究方法や論証方法が採られていること。
- ④ 論旨が明確かつ一貫しており、結論に至る過程が論理的に展開されていること。
- ⑤ 設定されたテーマの研究結果の記述が十分かつ適切になされていること。
- ⑥ 論文の成果が学問的にみて意義のあるものになっていること。
- ⑦ 研究者倫理を遵守したものになっていること。

#### 課題解明型の修士論文の評価基準

- ① 自らの問題意識にもとづいた明確な研究課題を設定していること。
- ② 研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び先行研究などの取り扱いが適切であり、課題の解明に真摯に取り組んでいること。
- ③ 課題の解明に適切な研究方法や論証方法が採られていること。
- ④ 論旨が明確かつ一貫しており、結論に至る過程が論理的に展開されていること。
- ⑤ 参考文献や注釈等の取り扱いにおいて、学術論文に必要とされる形式を具備していること。
- ⑥ 論文の成果が課題の解明からみて意義のあるものになっていること。
- ⑦ 研究者倫理を遵守したものになっていること。

4. 修士論文、課題解明型の修士論文とディプロマ・ポリシー（DP）9項目の関係は、以下の通りである。

学力の3要素	事項	ディプロマ・ポリシー(DP)	修士論文							課題解明型の修士論文								
			評価基準①	評価基準②	評価基準③	評価基準④	評価基準⑤	評価基準⑥	評価基準⑦	評価基準①	評価基準②	評価基準③	評価基準④	評価基準⑤	評価基準⑥	評価基準⑦		
1	知識・技能	高度な専門知識	DP1	○	○	○		○	○			○	○			○		
		専門知識	DP2	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
2	思考力・判断力・表現力	思考力	DP3	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			
		判断力	DP4	○		○	○	○			○		○	○	○			
		会話・文章力	DP5				○	○						○	○			
3	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・態度)	意欲・責任感	DP6		○						○		○				○	
		協調性	DP7								○							○
		持続性	DP8								○							○
		倫理観	DP9								○							○

制定日 2020年3月12日  
施行日 2020年4月1日

## 岡山商科大学大学院法学研究科修士課程 学位論文評価基準

### 1. 修士論文の提出までの手順

修士課程の学位論文（修士論文）を提出しようとする者は、課程修了予定の1年前の学年末までに所定の単位\*を修得していなければならない。また、修士論文の提出に当たっては、中間報告会を経ることを要する。

\*「法学研究科履修指導」を参照すること。

### 2. 審査体制

修士の学位の授与を受けようとする者（学位申請者）は、岡山商科大学学位規程第4条により、指定期日までに論文を提出すること。また、学位申請者は、修士論文報告会において報告を行うとともに最終試験を受けなければならない。

論文を受領した研究科委員会は、当該修士論文の内容及び専攻科目に関係する教員から3名以上の審査委員を選出して修士論文の審査と最終試験の施行を委嘱する。修士論文の審査及び最終試験は、下記の評価基準に留意して、提出された修士論文を中心に、口頭によって行う。

### 3. 修士論文に係る評価基準

- ①テーマは、専門分野（法学）に関する研究として適切に設定されているか。
- ②本研究の位置付けは、先行研究の検討が質・量とも適切にされた上で、明確に行われているか。
- ③研究・調査の方法は合理的なものであり、資料・データの取扱いは適切か。
- ④論文の記述（本文、図表、数式、引用、参考文献）は適切であり、論理的一貫性があるか。
- ⑤独創性が認められるか。
- ⑥研究者倫理を遵守しているか。

4. 修士論文とディプロマ・ポリシー (DP) 9項目の関係は、以下の通りである。

学力の3要素	事項	ディプロマ・ポリシー (DP)	修士論文「評価基準」						
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	知識・技能	高度な専門知識	DP1	○	○	○	○	○	
		専門知識	DP2	○		○	○		
2	思考力・判断力・表現力	思考力	DP3	○	○	○	○	○	
		判断力	DP4	○	○	○	○	○	
		会話・文章力	DP5		○		○	○	
3	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・態度)	意欲・責任感	DP6	○				○	○
		協調性	DP7						○
		持続性	DP8						○
		倫理観	DP9				○		○

制定日 2020年3月12日  
施行日 2020年4月1日

## 岡山商科大学大学院経済学研究科修士課程

# 学位論文評価基準

### 1. 修士課程の学位論文の提出までの手順

修士課程の学位論文（修士論文）を提出しようとする者は、課程修了予定の1年前の学年末までに専修科目の演習4単位及び講義2単位、選択必修科目6単位を含む、合計22単位以上を修得していなければならない。その後、修士論文の提出期日の概ね2か月前に開催される中間報告会を経て、指定期日までに修士論文を提出するものとする。

### 2. 審査体制

修士の学位授与を受けようとする者は、上記のような過程を経て、岡山商科大学学位規程第4条の規程に則り、指定期日までに修士論文を提出し、その後修士論文の報告会において報告を行うとともに最終試験を受けるものとする。

修士の学位授与を受けようとする者の修士論文を受領した研究科委員会は、その修士論文の内容及び専攻科目に関係する教員から3名以上の審査委員を選出して修士論文の審査と最終試験の施行を委嘱する。修士論文の審査と最終試験は、下記の修士論文の評価基準の各項目に留意して、提出された修士論文を中心に、口頭によって行う。

### 3. 修士課程の学位論文の評価基準

#### 修士論文の評価基準

- ① 専門分野からみて研究テーマの設定が適切か。
- ② 先行研究が的確にレビューされ、研究の位置づけが明確にされているか。
- ③ 理論的、実証的な方法を用いて合理的に考察されているか。
- ④ 論文の記述（本文、図表、数式、引用、参考文献）が十分かつ適切であるか。
- ⑤ 独創性が認められるか。
- ⑥ 研究者倫理を遵守しているか。

4. 修士論文とディプロマ・ポリシー (DP) 9項目の関係は、以下の通りである。

学力の3要素	事項	ディプロマ・ポリシー (DP)	修士論文						
			評価基準①	評価基準②	評価基準③	評価基準④	評価基準⑤	評価基準⑥	
1	知識・技能	高度な専門知識	DP1	○	○	○	○	○	
		専門知識	DP2	○	○	○	○	○	
2	思考力・判断力・表現力	思考力	DP3	○	○	○	○	○	
		判断力	DP4	○	○	○	○	○	
		会話・文章力	DP5			○	○		
3	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・態度)	意欲・責任感	DP6						○
		協調性	DP7						○
		持続性	DP8			○			○
		倫理観	DP9						○